

北村 成美 Shigemi KITAMURA

通称、なにわのコレオグラファーしげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに、国内外で精力的な活動を展開。劇場はもちろん、劇場を飛び出し、居酒屋、温泉、スーパーマーケット、電車、ご家庭の居間、小・中・高・特別支援校など、あらゆる場所を舞台に踊る。一人で立つソロダンスの醍醐味を追究する一方で、近年は、別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界、北九州劇場ダンスダイヴウィーク、京都芸術センター「Dance 4All」、ダンス王国Shizuoka、パフォーマンスキッズトーキョーなど、その街に飛び込み、人々と繋がり、観客をも巻き込むダイナミックなダンス作品づくりに取り組んでいる。

ホームページ <http://www.shigeyan.com/>

連絡先(担当) 北村成美

E-mail shige@shigeyan.com

在 住 地 滋賀県草津市

出 身 地 大阪府大阪市



Photo: 平野愛

活動歴・受賞歴

〈2000年～現在〉ソロ活動開始。ひとりレビュー作品『i.d.』を発表。年間30ステージ上演を達成。1週間ひとりで踊り続ける『ダンスマラソン』、ご家庭の居間で公演する『ダンスアットホーム』などの自主事業を開始。国内外のフェスティバルやツアーに参加。音楽家・巻上公一氏、一楽儀光氏、片岡祐介氏、山中カメラ氏、振付家・ダニエル・ユン氏、ケイト・デンボロー氏、ムギヨノ・カシド氏、美術家・井上信太氏など、さまざまなアーティストとの共同製作を発表。水着アイドル「夏びわ子」、「海ぶどうナツ子」(沖繩)、路地裏の踊り子「紙屋アツ子」(別府)などのご当地ソロダンスシリーズ、キャバレー企画、カラオケダンス大会を開催。〈2006年〉岐阜県多治見市文化会館ダンス活性化事業。〈2008年〉鹿児島県徳之島町文化会館ダンス活性化事業。〈2009年～15年〉「別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界」に3回連続参加。〈2009年～現在〉子どものための作品「くるみ割り(風)人形と二十日(ぐらい)ねずみの大運動会☆キャー!!」を、びわ湖ホー

ル(2009年)、岡山県現代舞踊連盟(2012年)、パフォーマンスキッズトーキョー(2013年)、高崎市NPO法人バレエノア(2014年)にて上演。〈2010～13年〉京都芸術センター「Dance 4 All」〈2010年〉宇都宮美術館「しげやんとつくる・美術館をめぐるダンスの旅」〈2012年〉広島県はつかいち文化ホールさくらびあ、山口県クリエイティブ・スペース赤れんが、兵庫県西宮市甲東ホールにてダンス活性化支援事業。〈2013年〉50日間の街頭ワークショップを経て市民178人が踊る作品を上演する「おどりあるきあそび・草津ダンス街道」主催。八戸・南郷アートプロジェクト「Dance×Jazz vol.2」映画つらくろ!ハトダンス大作戦」振付、出演。〈2013年〉北九州芸術劇場ダンスダイヴウィーク「夕暮れダンス」シリーズ「赤シャツダンサーズ」の活動開始。〈2014年〉大阪府箕面市立メイプルホールダンス活性化支援事業。六甲ミーツアート2014「しげやんと行く!六甲の休日」制作。

彦根市文化プラザ「ひこねフラッシュモブ」開始。〈2015年〉ダンス王国shizuokaコミュニティダンスフェスティバル「フジノソノツツレオリ」製作、発表。〈2016年〉Mugi Dance Project (アジア4カ国のアーティストによる共同製作)、びわ湖ホール「BON★ダンス大会」、「三陸国際芸術祭」にて振付・出演。「踊りに行くぜII vol.7」仙台公演にて「黒鷲-kokkei-」発表。〈2017年〉ジャパン×ナントプロジェクト参加(湘南ダンスワークショップ初のフランス遠征公演)〈2018年〉八尾市文化会館プリズムホールダンス活性化支援事業「ラブソディ・イン・八尾ブルー」実施。北村成美ひとりおどり舞台「S」を大阪市にて、「しげやんのダンスウィークin BEPPU」を別府市中心市街地にて開催。〈2019年〉八尾市文化会館プリズムホールダンス活性化支援事業「ヤオトマイ」実施。湖南ダンスカンパニー「ジャポニズム2018」参加。(パリ日本文化会館にて公演)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

しげやんの飛び込みダンスパーティー!!

ご当地のサークルや様々な活動グループを訪問させて頂き、そのメンバーさんおひとりおひとりとお話しながらデュオを踊り、最後は全員でひとつになって踊ります。伝統芸能の集まり、子育てサークル、ご高齢の方や障がいのある方たちのデイサービス施設、日本語教室、少年野球チーム、お昼休みの工場や会社など、様々なグループに飛び込み、あらゆる方たちとおどる場を広げていきたいと考えています。

公募ワークショップ

だれでもコレオグラファー(振付家)!!ダンスをつくりおどるワークショップ

言葉での説明ではなく、声やアイコンタクト、身振り手振りなどで進行していきます。まず北村が踊り、参加者さんには反応もしくは同調してもらいます。その動きを北村が真似し、さらにそれを参加者さんに真似してもらいます。そんなキャッチボールを繰り返すうちに、関係性をつくり、ダンスをつくります。こうして出来たダンスを、どこでどんな風に踊るかを話し合い、アレンジし、最後に発表をします。

◎実施条件(共通)

▶参加人数:5~100名までOK!(最適人数は20名です。)▶アシスタント:1名希望します。▶必要機材:CD、iPodが再生できる機材。小中学校の場合はワイヤレスマイクが必要です。▶対象:年齢・性別・障がいの有無を問わず、どなたでも。▶場所:ご家庭の居間からグラウンドまで、どこでも。▶その他条件:必須ではありませんが、小中学校の場合は給食と一緒に食べたり、お茶を飲んだり、ワークショップの前後に交流やお話しする場があればありがたいです。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

ソロ作品2本立てに劇場外(ロビーや屋外)での小品を組み合わせたツアー形式の公演

(例:おむかえダンスー作品1ー休憩ダンスー作品2ーお見送りダンス)

本舞台でのソロ作品は、20~30分もの「i.d.」、「ラベンダー」、「うたげうた」などのレパートリーから選んで頂きます。ホールの条件やご要望によっては、レパートリーをその現場に合わせた演出に変えて上演いたします。

▶上演時間:例のプランで約90分

市民参加作品

地元のみなさんと一緒につくるご当地自慢ダンス公演

参加者の方は、こども、おとな、オヤジ、マダム、親子など、経験や障がいの有無を問わず、あらゆる方を対象にすることが可能です。

▶上演時間:90~120分

◎実施条件(共通)

▶必要なスタッフ:舞台監督、照明、音響スタッフ(現地スタッフで可能)、劇場外パフォーマンスにかかるツアーコンダクター役(現地ボランティアスタッフで可能)※基本的にテクニカルスタッフについては、現地の方との共同作業を希望します。また、現地のご要望により、オリジナル照明プランの提出、照明スタッフ

の同行も可能です。

▶ソロの場合の共演者の有無:「i.d.」を上演する場合は、共演者(影絵ダンサー)1名の同行を希望します。

▶上演環境:本舞台での上演の場合は、通常の照明・音響設備とリノリウムが必要です。劇場外パフォーマンスでは、敷地内でご相談に応じます。ご要望により、屋外やロビーでの本公演も可能です。※ワークショップや公演のタイトルは、あくまでも一例です。事業ごとに、主催者さんや地元のみなさまのニーズをお伺いして、ご相談の上、決めさせていただきますので、何でもご相談下さい。